

# 中世木モニタリング調査報告 — 3月の報告（2021年の初回調査） —

日時：2021年3月29日（火） 10時～12時

場所：南丹市日吉町中世木地区

天気：晴

参加者：11名 + 前田敦子（主催者）

今年最初の中世木モニタリングです。中世木地区も2年目に入りましたが、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止した月も多くあり、今年も新鮮な気持ちでスタートすることになりました。しかし、新型コロナウイルスは治まる兆しもなく、今回もメンバーが感染対策を取りながらの調査でした。この先、安心して地元の人たちも参加できる植生調査になり、この植生豊かな地域の方々と交流出来ることを楽しみにしています。

私達は10時に中世木へ集合し、観察場所へ向かいました。途中の道端や畦道にもツクシの群生場所やオオイヌノフグリ、ホトケノザが蕾や花を咲かせて春を感じさせてくれます。



C 区間、谷のほうも観察



アマナ

A 区間の畑では、アマナの花が綺麗に咲いていました。畑の法面には、昨年に開花確認したヤブカンゾウが緑色の綺麗な芽を数多く出しています。開花時期を迎えたヤマネコノメソウ、オオイヌノフグリ、タネツケバナ SP、ハコベ、カンスゲ SP、ヤマエンゴサクの花を確認しました。また、イチリンソウ、アケビ、ホトケノザはまだ蕾の時期でしたので今後の調査が楽しみです。

B 区間は畑から山へ入る迄の山麓里道です。ここでは木本も観察され、ダンコウバイ、クロモジ・キブシやウグイスカグラが花を付けていました。ナワシログミやツルグミは実を付けています。今回、目線の倍ほどの場所にエビネの葉を確認しましたので、今後どんな花が咲くか楽しみです。



ヤマネコノメソウ

C区間は山に入る登り道とその両側です。ここでは、山からの湧き水や小川も見られ、クラマゴケ、リョウメンシダなどのシダ類の他にもチャルメルソウやヤマネコノメソウが蕾や花を見せています。山道の足元にはアケボノソウのロゼットや葉の臭いで確認したマツカゼソウ（ミカン科）も記録しました。

今回、モニタリング調査終了後に地元地域を少し歩いて観察し、さらに車で移動して近隣の神社とその裏の法面などを観察しました。やはり中世木地区は植生豊かな所だと再実感しました。また、今年の春にクリーム色の雄しべをしたセツブンソウ群生地を案内してもらい、帰りに一株貰った家の方は既に引っ越され、今年は別の方が移り住まわれていました。私の持ち帰ったセツブンソウは今年芽を出しませんでしたので残念です。（古結）



チャルメルソウ



ヤマエンゴサク



ヤマコウバシ



ツルグミ



キブシ



ウグイスカグラ



ダンコウバイ



マムシグサ SP.